

2 実際のシナリオ

概要

このセクションでは、Web監視をどのように使用できるかを、実例を使って段階的に説明します。

ZabbixのWeb監視を使用してZabbixのWebインターフェースを監視してみましょう。その稼働状況、正しいコンテンツを提供しているかどうか、そして応答速度を知りたいとします。そのためには、ユーザー名とパスワードを使用してログインしなければなりません。

シナリオ

ステップ1

新規Webシナリオの追加

ZabbixのWebインターフェースを監視するためのシナリオを追加します。このシナリオは、複数のステップを実行します。

[設定]→[ホスト]を選択してください。ホストを選択し、そのホストの行にある[Web]をクリックします。次に、[シナリオの作成]をクリックします。

Scenario	Steps
Host	New host
Name	Availability of zabbix
Application	
New application	Web checks
Authentication	None
Update interval (in sec)	60
Retries	1
Agent	Mozilla Firefox 8.0
HTTP proxy	http://[username[:password]@]proxy.example.com[:port]
Variables	{user}=Admin {password}=zabbix
Enabled	<input checked="" type="checkbox"/>

新規シナリオのフォームを使用して、シナリオに「Availability of zabbix」という名前を付け、このシナリオに新規のWebチェックアプリケーションを作成します。

{user}と{password}の2つのマクロも作成することにご注意ください。

ステップ2

シナリオにステップを設定

[ステップ]タブの[追加]ボタンをクリックし、各ステップを追加します。

Webシナリオステップ1

はじめに、最初のページが正しく応答し、HTTPレスポンスコード200で返却、さらに文字列[Zabbix SIA]を含むことを確認します。

Step of scenario

Name	<input type="text" value="First page"/>
URL	<input type="text" value="http://localhost/zabbix/index.php"/>
Post	<input type="text"/>
Variables	<input type="text"/>
Timeout	<input type="text" value="15"/>
Required string	<input type="text" value="Zabbix SIA"/>
Required status codes	<input type="text" value="200"/>

ステップの設定が終わったら、「追加」をクリックします。

Webシナリオステップ2

続いて[Zabbix Web]インターフェースにログインします。これは、シナリオレベルで設定した{user}と{password}のマクロ(変数)を再び使用して行います。

Step of scenario	
Name	Logging in
URL	http://localhost/zabbix/index.php
Post	name={user}&password={password}&enter=Sign in
Variables	{sid}=regex:sid=([0-9a-z]{16})
Timeout	15
Required string	
Required status codes	200

Zabbix Webインターフェースは、ログイン時にJavaScriptによるリダイレクトを使用するため、最初にログインする必要があります。そうすれば、次のステップから、ログイン済の内容を確認できることに注意してください。また、ログインステップではURLに**index.php**ファイルを含めたフルパスを設定する必要があります。

POST変数はすべて1行で表示し、**&**記号で連結しなければなりません。ZabbixのWebインターフェースへのログインするための設定例:

```
name=Admin&password=zabbix&enter=Sign in
```

この例のようにマクロを使用する場合は、ログイン文字列は次のようになります。

```
name={user}&password={password}&enter=Sign in
```

{sid}変数（セッションIDのコンテンツをどのように取得するかに注意してください。これは、ステップ4で必要になります）。

Webシナリオステップ3

ログインしたら、その事実を確認します。そのためには、ログインしていないと表示されない文字列を確認します。例えば、右上隅に**[プロフィール]**リンクが表示されます。

Step of scenario	
Name	Login check
URL	http://localhost/zabbix/index.php
Post	
Variables	
Timeout	15
Required string	Profile
Required status codes	200

Webシナリオステップ4

Webインターフェースにアクセス可能で、ログインでき、ログイン後のコンテンツを取得できることが確認できたので、今度はログアウトする必要があります。そうしないとZabbixデータベースが膨大なオープンセッションの記録でいっぱいになります。

Step of scenario	
Name	Logging out
URL	http://localhost/zabbix/index.php?reconnect=1&sid={sid}
Post	
Variables	
Timeout	15
Required string	
Required status codes	200

ステップの設定の完了

Webシナリオステップの設定が完了すると、次のように見えます。

Scenario		Steps				
Steps	Name	Timeout	URL	Required	Status codes	
↓ 1:	First page	15 sec	http://localhost/zabbix/index.php	Zabbix	200	Remove
↓ 2:	Logging in	15 sec	http://localhost/zabbix/index.php	SIA	200	Remove
↓ 3:	Login check	15 sec	http://localhost/zabbix/index.php	Profile	200	Remove
↓ 4:	Logging out	15 sec	http://localhost/zabbix/index.php?reconnect=1&sid={sid}		200	Remove
Add						

ステップ3

完了したWeb監視シナリオを保存します。

[監視]→[Web]により、シナリオが表示されます。

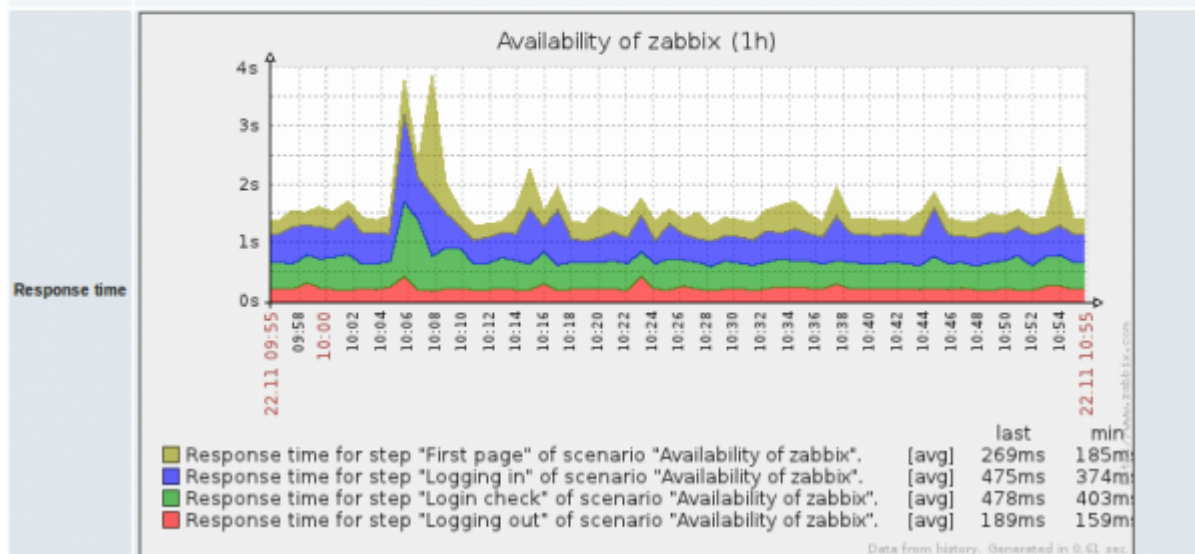
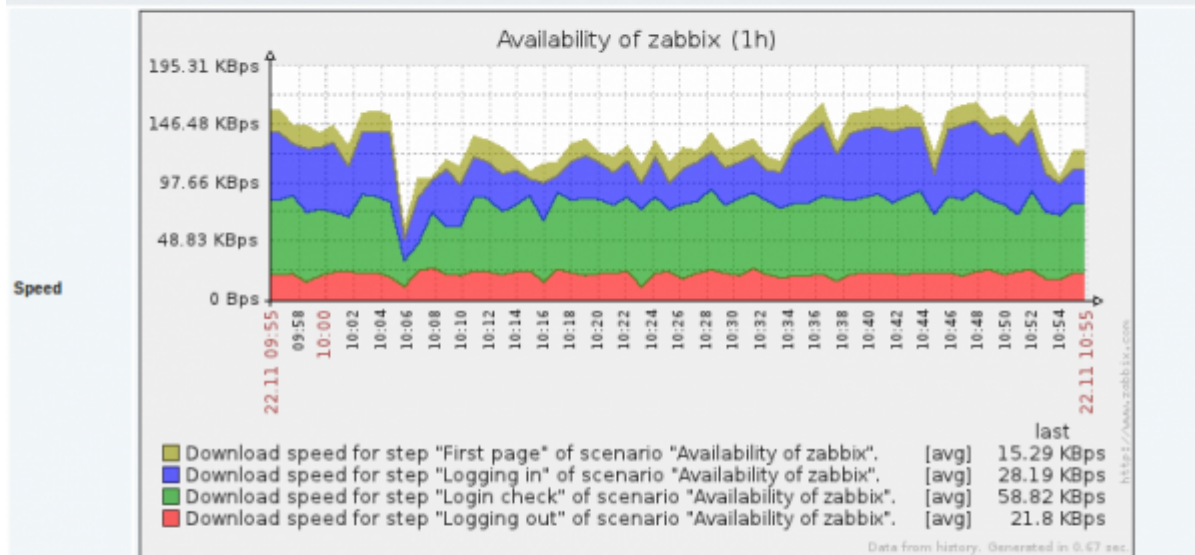
Web checks			
Group <input type="text" value="all"/>		Host <input type="text" value="New host"/>	
Displaying 1 to 1 of 1 found			
Name	Number of steps	Last check	Status
Availability of zabbix	4	Never	Unknown

シナリオ名をクリックすると、より詳細な統計が表示されます。

DETAILS OF SCENARIO Availability of zabbix [22 Nov 2012 10:55:05]

Step	Speed	Response time	Response code	Status
First page	15.29 KBps	269ms	200	OK
Logging in	28.19 KBps	475ms	200	OK
Login check	58.82 KBps	478ms	200	OK
Logging out	21.8 KBps	189ms	200	OK
TOTAL		1s 411ms		OK

Filter



本ページは2014/08/05時点の原文を基にしておりますので、内容は必ずしも最新のものと限りません。最新の情報は、英語版のZabbix2.2 マニュアルを参照してください。

From: <https://www.zabbix.com/documentation/2.2/> - Zabbix Documentation 2.2

Permanent link: https://www.zabbix.com/documentation/2.2/jp/manual/web_monitoring/example

Last update: 2014/10/10 02:02



